

ヤマブキソウ

Hylomecon japonicum (Thunb.) Prantl

ケシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地、個体数が極めて少ない。(現況:R-)

形態

根出葉には長い葉柄がある。羽状複葉で小葉は5~7個、先はとがる。花はヤマブキとよく似た鮮やかな黄色い花で上部の葉の葉腋から出る。

国内分布

本州~九州。

県内分布

加賀中央区。

生態など

高さ30~40cmの多年草で群生する。開花期は4~5月。朔果は線形で直立し、なかにやや多数の種子がある。葉形の変化が多い。夏になると地上部は枯れる。

生育環境

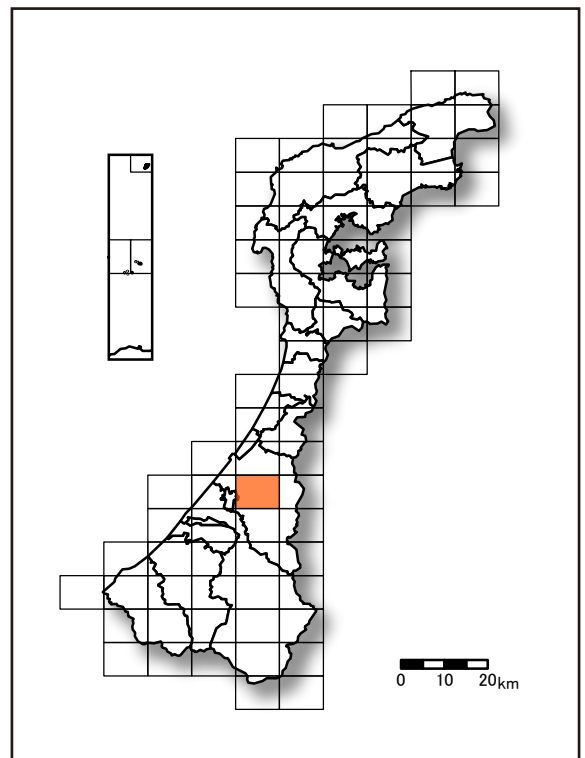
台地の斜面下部に成立しているケヤキ林の明るい林床にコシヤクとともに生育する。

危険要因

園芸採取、自然遷移。



本多郁夫・2000年5月4日・金沢市



県内の分布